

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2010年10月20日(水)



こどもたちにパンづくりを見せたい。

荻野社長兄弟(時夫社長、隆司常務)の思いがこめられたオギノパン新社屋・新工場が相模原市長竹に誕生した。評判は高く、休日は1日2,500人の来客でにぎわう。

パンづくりが見渡せる見学通路を備えた工場、目の前で焼かれたパンが味わえる直売店は、美味しさ、面白さ、にぎわいを備えた相模原の新しい南の玄関口である。

現在、125名の社員が働くオギノパンは、昭和35年に創業した。相模湖や藤野に食品等を配送していた先代社長がパンの潜在的ニーズを感じ、自らパン工場をつくったことが始まりである。

パン職人でない先代が苦勞して築いたオギノパン。小学生のころから父親の苦勞する姿を見て自分が出来ることをしたいと思いつけてきた。学生時代から続けてきたカヌーは、国際大会まで出場したレベル、しかし、その道をあきらめパンづくりを継いだ自分。今、自分の息子も直売店に店長として立っている。パンづくりへの思いは、3代にわたり受け継がれている。

積極的に新しい商品づくりに取り組み、売上の1割を占める丹沢アンパンやなつかしい給食揚げパンを生み出した。特に10年前に開発した丹沢アンパンへの思いは強い。15種類の味を季節に合わせてラインアップする。王道のアンパンをお年寄り向けに食べやすい商品として開発に挑戦し誕生した。リッチな生地十分に詰まった餡。食べる人が満足できる逸品に仕上がっている。

信者の二文字を合わせると、儲の文字になる。商品のファン、店のファンを増やすことが、お金だけでなく、すべての豊かさに通じると言う。

これからは、工場直営店のビジネスモデルを活かし、焼き立て、造りたてのパンを提供する新しい店舗展開を考えている。ラーメン店がしている「あなたの為に造りました」をパンで実現したい。新しいビジネスを語る荻野社長の目は、未来を見つめている。

地域企業紹介 9
株式会社オギノパン

受け継がれる パンづくりへの挑戦

株式会社オギノパン 代表取締役 荻野時夫
所在地：相模原市緑区長竹2841 資本金：1000万円
創業：昭和35年5月 従業員：125人
事業内容：学校給食用パン、リテールベーカリーの経営

ウェブサイト：<http://www.ogino-pan.com/>



「光を操り、次代を照らす」

株式会社オプトデザイン

オプトデザインは、大手光学メーカーのエンジニアであった佐藤栄一社長が1991年に創業し、光学設計シミュレーション・光学検査機器の受託開発を経て、光学設計ソフトの輸入販売を手掛けておりましたが、「自社製品を保有したい」との夢の実現に向けて、LEDを面光源に変えることに着目し2005年から研究開発に着手。相模原市研究開発補助金の活用で基礎技術を確認させるとともに、ユーザーの引き合いによる試作開発を行い製品化に向けた応用技術開発を鋭意進めてきました。

LEDを面発光にさせる技術は、LEDサイド型、LED直下型などありますが、同社が開発したのは、LED直下型に「フラッター」という光学部材を組み合わせたことで、従来にはない面発光を実現したものです。特徴は、発光効率の高さ、高い均一度、製品のワイド化への対応性、軽量かつ薄いこと、LEDの使用数量削減による低コスト・省電力性など

が上げられます。

これまで、相模原市役所正面玄関や橋本駅南・北口での観光PR用看板を皮切りに、デザイン性ある建築物の壁面照明（東京・渋谷）、スタンドグラス壁面照明（仙台駅）、駅構内の案内標識用照明（東京駅や町田駅など）、東京駅構内の円柱広告照明、道路トンネル内用照明、飲食店向け看板照明などの実績を有します。

また、今年の夏には、欧州のパリやベルリンで、三宅一が生かした「和紙」、「LED」、「フラッター」を融合してデザインした照明器具が披露されたそうです。

現在、照明器具の分野では大手電気メーカーとの共同開発が進められており、ライセンス契約を踏まえて来年には販売されていくことが予定されています。

また、ディスプレイのバックライト分野では、LED直下型が主流になりつつある中で、フラッターの組み込みに向けた商談が進められており、今後、アジアを拠点にした生産体制を検討していると

のことです。

昨年から取り組んできた全国中小企業団体中央会「ものづくり製品開発等支援補助金」を活用した研究開発では、市内ものづくり企業との連携により開発がこのほど順調に完了しました。佐藤栄一社長は「今後も、看板分野など相模原周辺企業との連携したビジネス展開を志向したい」と語ります。

オプトデザインは、経営幹部を含めても平均年齢が40歳と若い企業である一方、経験豊富な企業OBの方々からも技術顧問として協力を得ており、世代を超えたメンバー15名が力を合わせ、次代を照らす光学テクノロジーを開発する会社として、活発な事業展開を行っています。

株式会社オプトデザイン
代表取締役 佐藤 栄一
さがみはら産業創造センター SIC2-608
TEL: 042-770-9779
WEB: <http://www.opto-design.com/>



オプトデザインのテクノロジー



建築物の壁面照明



(前列左から3人目が佐藤社長) スタッフの皆さん

大学連携 大学研究室紹介

東京工業高等専門学校

物質工学科 教授 高橋 三男



高橋 三男 教授

「手作り酸素センサ」を作製し、酸素に関わる様々な現象を研究

高橋研究室では、我々身の回りに存在する自然現象で酸素に関わる研究をしています。

酸素は、我々が生命を維持するためには必要不可欠な物質というだけでなく、動物や植物の呼吸、物質の燃焼、植物の光合成、金属の腐食など、身の回りには酸素に関わる自然現象が多く存在します。

教育現場では、生徒一人ひとりが酸素センサを理科実験に使用するにはセンサは高価なため難しい状況にあります。そこで本研究室では、安価で誰でも簡単に組立てができる、手作りによる酸素センサを作製しています。このセンサの原理は、隔膜ガルバニ式酸素センサと呼ばれるもので、大気中の酸素や溶液中の溶存酸素を計測できるため、理科教材の開発には最適なセンサです。電極は貴金属の金と卑金属の鉛でできています。電解液には洗濯のりと重曹の混合液を使用しています。酸素透過膜には身近なポリエチレン膜を使っており、実験中に酸素透過膜が破れても簡単に交換できるように工夫されています。見かけは同じ透明なラップでもポリ塩化ビニリデンからできているサランラップやクレラップは酸素を透過しません。

ポリエチレン膜には酸素を透過する機能性があることを認識することができます。様々なラッ



手作り酸素センサキット

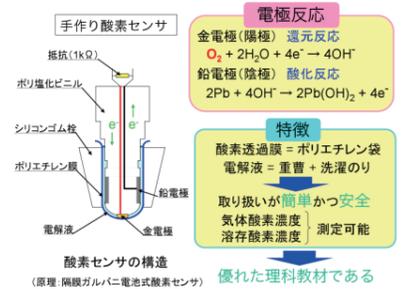
プの酸素透過性の評価にセンサも使うことができます。

理科の探求型実験として、人間の呼吸やカイコの呼吸、金魚の呼吸、水藻の呼吸、ほうれん草の光合成、使い捨てカイロの酸化還元反応、洋ロウソクと和ロウソクの燃焼反応、スチールウールの燃焼反応、ブタンガスの燃焼反応、バナナの内呼吸、りんごの内呼吸、赤ピーマンの内呼吸など簡単に計測することができます。一方、ポリエチレン膜が簡単に交換できるため、酸素センサをメディエーターとしたバイオセンサの開発にも適しています。キュウリの表皮の薄片を電極に装着するだけでビタミンCセンサになります。また、ジャガイモの薄片を使うとカテゴリーセンサ、バナナを使うとドーパミンセンサになります。この手作り酸素センサは多様なバイオセンサを開発するには、取り扱いが簡単で非常に使いやすく便利なセンサです。酸素センサが劣化した場合は、サンドペーパーで電極を磨くだけで何度でも繰り返し利用できるためとても利用価値の高いセンサといえます。

最近では、マイクロ酸素センサを使って根の研究もしています。ペニバナインゲンの根に湛水処理をおこなうと酸欠状態になり、その結果、根の先端が膨潤し、中心柱柔細胞群の崩壊が起こって空隙が形成されます。そのメカニズムの解明をおこなっています。

植物は、生命を維持するために根から養分を吸収し、水を吸収し呼吸もしています。

問い合わせ先
＜共同研究について＞
東京工業高等専門学校 総務課企画係
TEL:042-668-5116
<http://www.tokyo-ct.ac.jp/>
＜技術相談・試験依頼などについて＞
東京高専産業技術センター
E-Mail: kenkyo@tokyo-ct.ac.jp
<http://xythos.tokyo-ct.ac.jp/dpt/tecno/tc.htm>



ブタンガスによる消炎実験 ドライアイス大気中の酸素濃度実験

水のやり過ぎは、呼吸困難となり根腐れが生じます。根の研究を例えていうならば、人間の頭の部分を研究しているようなもので、人間を逆立ちして頭と両手を土壌に入れた状態が根ということになります。ちなみに日本文化には根による言葉が多く、「根気、根源、根幹、根本、根性、垣根、尾根、屋根、草の根、根絶、根を張る、根に持つ、根も葉もない、島根など」根を研究していると生命の力強さを感じることができます。

私の仕事は、どのような環境でも社会に根付く学生を育成することだと考えています。

ち 長竹のニローネ
とってとってち ちいさな旅

今回は、長竹の萐尾根(ニローネ)を紹介します。小高い山の裾野に広がるのどかな農場の光景。土と緑のにおいにとて癒される場所です。萐尾根から2つのハイキングコースが楽しめます。城山へ続く「山里から津久井湖へのみち(10.3km)」と清川村へ続く「北条武田合戦場のみち(16.2km)」です。ブルーベリー、津久井在来大豆など大地の恵みが季節を感じさせてくれます。11月27日に体験型イベント「ニローネ 里山交流のつどい」が開催されます。トップページで紹介したオギノパンもこの萐尾根にあります。一度訪ねてみてください。

デスク・テン Desk 10

SIC Bizステーションサービス

ビジネスは十人十色。

考える場所がほしい! 色々な人と交流したい! 起業したい! などなど、そんなあなたを、SICは待っています!

自分でこんな事業をしたいと考えているけど、何から手をつけて、どうすればいいのかわからない。考えたいときに考える、使いたいときに使う、そんな場所が、家じゃない所に欲しい! やりたい事は? 仕事をしながら可能性を模索したい! 等等、そんなニーズにお答えして、レンタルデスク/レンタルオフィスがこの7月、SICに登場しました。その名も、「Desk 10」。分かり易く言うと、いつでも自由に机(場所)を選んで使えるシェアードオフィスです。行き詰ったら、インキュベーション・マネージャーにもご相談いただけます。



現在、クリエイターやWebのプログラマーなどの方々が会員登録されていますが、その中で社会的企業育成支援事業コンソーシアムが開催する第1回社会起業プラン・コンペティション(横浜地区)特別賞を斎藤優見さんが受賞されました。斎藤さんは、「普段着物」を世界にも普及させたいという大きな夢の実現に向けて国内外で事業を展開されています。今回のエントリーでは、改めてビジネスとしてご自身の事業を捉える機会になったと語ります。

十人十色、ビジネスもしかり。Desk 10は、色々な皆さんをお待ちしています。

ご利用サービス service	デスク (フリーアドレス)	ワークスペース	オフィス機器	住所使用
専用ロッカー	打合せ・商談スペース	リフレッシュルーム	貸し会議室	秘書電話代行サービス

詳しくは、ホームページへ <http://www.sic-sagamihara.jp/desk10/>

第18回職業能力開発研究発表講演会開催のご案内



ものづくり技能伝承は、人づくりから

開催日 平成22年11月25日(木)・26日(金)
会場 職業能力開発総合大学校
参加費 無料

プログラム

- ①特別講演
日時 : 11月25日(木) 10:15から
会場 : 7号館 1階大教室
講演テーマ : モノづくりのサポートインダストリー「金型」
講演者 : 株式会社長津製作所 代表取締役会長 牧野俊清氏
- ②研究発表
職業能力開発に係る実践報告及び
機械工学等専門的研究開発に係る成果発表(75件)
発表者 : 職業能力開発に携わる職業訓練指導員及び
職業能力開発総合大学校教員・学生等
- 口頭発表 : 11月25日(木) 13:00~17:00 (7号館5階研修室)
11月26日(金) 9:20~16:00 (7号館5階研修室)
- ③校内見学
11月25日(木) 14:00、11月26日(金) 14:00
7号館1階受付に集合してください

お問い合わせ先
第18回職業能力開発研究発表講演会事務局
TEL.042-763-9046 FAX.042-763-9047
E-mail: fukyu@uitec.ac.jp
<http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/center/fukyuu/027/index.html>

【主催】独立行政法人 雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校

10月~ SICイベントカレンダー

2010年10月~

- 10月22日(金) SIC職場リーダー養成塾開塾
- 11月19日(金) SIC・KSPフォーラム
- 12月20日(月) 企業・学生交流会

入居企業を募集してます。

SIC 空室情報 (10月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(賃料: 共益費込み)

部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-2 オフィス	50.2㎡ 2	164,850円

編集後記

待ちに待った秋です。食欲、知力、体力、精神力を補充する季節です。セミナーやイベントも多く開催され、為になる事がたくさん仕入れられるかも知れません。忙しい合間に時間をちょっと作っていただき、ついでにSICの「ものづくり経営相談」(随時受付)にも、足を伸ばしてみてくださいは如何でしょうか。お電話・メール・ファックス何でもウェルカムです。インキュベーションマネージャーが皆さんをお待ちしています。(広報担当)



★ご意見・ご感想をお待ちしています。

(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>